山行報告　　両神山 梵天尾根縦走

【山域】奥秩父　　【ルート】両神山 梵天尾根（白井差峠～秩父御岳山）

【登山形式】やぶ岩バリエーション　　【メンバー】CL 吉川（記）、柘植

【行動日】2016 年　1/16(土)～17(日)

【内容】1/16〈晴〉

土気 4:30⇒大宮 IC⇒関越道経由花園 IC⇒大滝温泉（駐車）9:06(バス）⇒中双里 9:40－両神山登山口 9:50－白井差峠 11:10/11:25－芋堀ドッケン 14:00－倉明山 15:10－幕場 15:40

大滝温泉から中津川行のバスに乗る。中双里で下車するまで、乗客は我々を含め登山者４名のみだった。単独者が、迷わず登山口を目指して歩いていたので後を追って行ったら、住宅の玄関先に入ってしまったが、快く通してくれ取り付きまで教えてくれた。砂地の急斜面に足を取られながら、やがて植林帯を登るようになる。白井差峠まで標高差８００ｍは冷たい空気を心地よく感じながらも厳しい登りであった。やっと梵天尾根の稜線に立つ。ここを北上すると両神山へのルートとなる。だいぶ前に大峠から狩倉岳の周回は、ドキドキしながらも楽しんだ記憶がよみがえる。今回はここから御岳山まで南下する。

白井差峠

芋堀ドッケンへの快適な稜線

ここからバリエーションに突入！地図と磁石を頼りにと言っても、何となくある踏み跡を辿って灌木の明るい稜線を歩く。両神山が見えるようになると芋堀ドッケンも近くなる。山名板もない山頂に三角点を確認し進行方向を間違えないよう広い尾根を進む。尾根が広がると、踏み跡はばらけるので要注意！

落葉した雑木の尾根は明るい

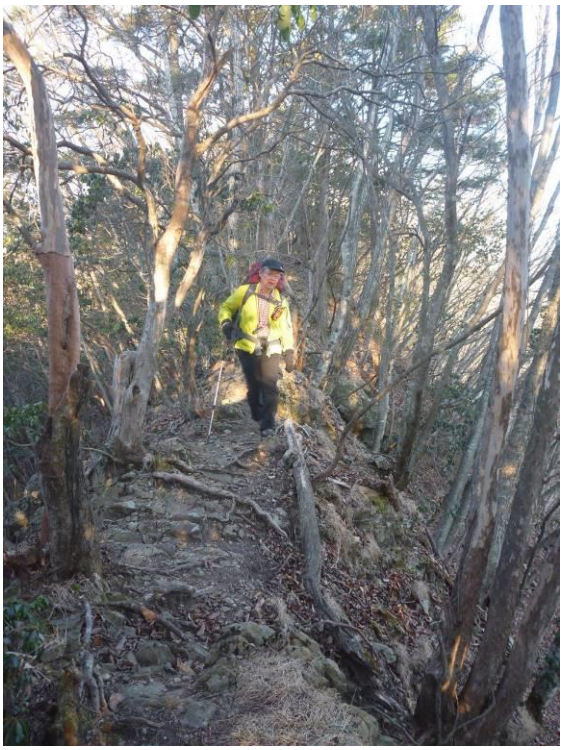
今回唯一の山名表示板は倉明山（三角点名は滝ノ沢）

ちょっとした露岩帯の大岩を巻いたり登り返したりして、倉明山ピーク手前の岩場に着いた。
ザックをデポして 100m 南の山頂まで行ってみるが、ここも山名板は無くひっそり三角点だけあった。山と高原地図に記載されている滝ノ沢と四期萩は山名ではなくて三角点名らしい。ピークを一つ越え緩い下りになってからは、快適な幕営場を選り好みしながらようやく落ち着く。夕食は、豚汁とネギトロ丼と、ちょっと豪華番！少々重いがインスタントより美味しいです。すぐ下の谷の灯りと尾根を一つ越えた小鹿野町の夜景は素晴らしく綺麗だった。

1/17〈晴のち曇り〉

幕場 6:55－茂萩山 9:00－林道 10:35－御岳山 11:15－大滝温泉 1:05⇒花園 IC⇒関越道経由⇒千葉

今日のルートは、昨日より尾根が細かく屈曲するので、気を引き締めて日の出とともに出発する。



日曜の出足は細い尾根

難所の茂萩山への尾根

地形図に波線のある峠らしき所は、分かり難く GPS で確かめてもらう。峠越えへの古道なのか？茶屋でも建てられそうな小広い鞍部を跨ぐ。細かく進路を変えながら進むと、前方に今日の核心部が現れる。

だんだんこんな感じになってくる

岩稜帯を果敢に攻める吉川さん

登れそうなルートを探し、巻いたり直登したり近寄ると意外にルートが見つかるが、岩がもろいので慎重に通過し、茂萩山に到着。

難所を抜けると穏やかな稜線に

ループ橋と滝沢ダムが見える

茂萩山の山頂（三角点名は四期萩）

歩いてきた長大な梵天尾根と両神山

この先、二重山稜地形や、ピークごとに屈曲、アップダウンを繰り返し、いったん林道に下り、林道に破断された尾根に取り付き御岳山の登りに入る。鎖の下がる登山道を経て、倉明山以来の山名標柱のある山頂に立った。雲取山、飛龍山、重厚な山塊は和名倉山、白泰山、ギザギザの両神山から延びる今回

辿った梵天尾根、そして谷を挟んで昨年歩いた辺見尾根、遠くの八ヶ岳等々の大展望。ちょっと頑張って歩いて味わえる醍醐味！そしてまた次の尾根を歩きたくなる。

茂萩山から先は再びのどかな雑木の尾根

ゴールの秩父御岳山

落合に南下するルートをとり、一部林道を歩きと近道の登山道を交え大滝温泉に戻る。

この時期、ナラやクヌギの落ち葉を踏み占め、枝の隙間から見る景色もいいものです。クマの糞がやたら多くあるが、この辺のクマは冬眠しないのでしょうか？　遭遇しなくて良かったです。